

# 鎌ヶ谷市 郷土資料館 だより 第50号

## 目次

- 第23回ミニ展示を開催…………… 1
- 歴史講演会（Ⅰ）と（Ⅱ）を開催／郷土資料館この一品⑨ …………… 2
- 発見！襖の下張りから歴史資料が… 3
- オリンピック探しています！／ガイドボランティアがご案内します／学芸員の仕事…………… 4

## 牧ものがたり 一馬と人と草木の大地一

### 第23回ミニ展示を開催

郷土資料館では、3月21日（土）から「第23回ミニ展示」を開催します。江戸時代、軍事・輸送上で重要な役割を担った馬を確保するため、幕府は下総の地に直轄の馬の牧場（小金牧・佐倉牧）を設置しました。このうち小金牧は市域との関係も深く、市内には国史跡下総小金中野牧跡の捕込や野馬土手など史跡が数多く残されています。今回の展示ではこの「小金牧」をテーマに馬と人との関わりや、牧場と人との関わりを、市域に残された古文書をはじめとする様々な歴史資料から見ていきます。

### 展示内容

#### ◇小金牧ってなあに？

国史跡PRキャラクターの「とっこめくん・のまっきー」と一緒に小金牧について学びます。

#### ◇牧を支えた人々

①牧士：小金牧の運営を現場で監督した責任者のことを牧士といい、市域では三橋家（中沢）と清田家（鎌ヶ谷）が代々この役職に就任していました。ここでは、新たに発見された史料も含めて牧士について紹介します。

②村の人々：牧周辺の村の人々は、毎日、牧の見回りや草木の管理などが義務として課せられていました。ここでは、村の人々とそこから見えてくる野馬と牧の様子について紹介します。



最後の牧士正月の図

#### ◇草木の大地

幕府は牧からの収益をあげるため、周辺の村々に対して牧の利用を許可し、そこから税を徴収していました。周辺の村々も牧の様々な植物を利用し、これを稜や薪とすることで利益を得ていました。ここでは牧にあった植物資源がどの様なものだったか、また、この草木の大地を人々がどの様に利用していたかを紹介します。

展示期間 3月21日（土）～5月17日（日）

ただし、毎週月曜日と4月30日（木）、5月7日（木）・8日（金）は休館

開館時間 午前9時～午後5時

会場 郷土資料館2階展示室

#### ギャラリートークも開催

日時 ①3/31(火) ②4/8(水) ③4/16(木) ④4/24(金) ⑤5/2(土) ⑥5/10(日)のいずれも午後1時30分～2時30分

問い合わせ 郷土資料館 ☎ 445-1030

## 歴史講演会(Ⅰ)と(Ⅱ)を開催

郷土資料館では、3月21日(日)から始まる第23回ミニ展示に合わせ、「小金牧」をテーマとした歴史講演会(Ⅰ)及び(Ⅱ)を開催します。鎌ヶ谷の歴史を語るうえで欠かせない牧の歴史を知る絶好の機会。ぜひご参加ください。

### ◇ 歴史講演会(Ⅰ)

江戸時代、初富などの市域中央部は幕府直轄



牧関係の触書き

の小金中野牧の一部でした。牧には「野馬」と呼ばれる半野生の馬が放牧されており、この管理は牧士と呼ば

れる地域の有力者に任されていました。

歴史講演会(Ⅰ)では「ゆくうま くるうま〜上ヶ馬・父馬・払い馬〜」と題して、特に『野馬』に焦点を当てお話ししていただきます。

日時 3月22日(日)午後2時〜4時

場所 中央公民館学習室1

講師 高見澤美紀さん(鎌ヶ谷市文化財審議会委員・國學院大學兼任講師)

定員 60名(申込先着順)

### ◇ 歴史講演会(Ⅱ)

江戸時代、軍事や輸送上の重要な役割を果たす馬を生産するために、幕府は小金牧・佐倉牧・嶺岡牧(現・千葉県)と愛鷹牧(現・静岡県)を設置しました。幕府はこれらの牧をどの様に運営していたのでしょうか。

歴史講演会(Ⅱ)では「江戸幕府の馬政と小金牧」と題して、江戸時代の馬政についてお話ししていただきます。

日時 4月19日(日)午後2時〜4時

場所 生涯学習推進センター(まなびいプラザ)研修室1

講師 吉岡 孝さん(國學院大學文学部教授)

定員 60名(3/15から受付・申込先着順)

### — (Ⅰ)・(Ⅱ)共通 —

対象 市内在住・在勤・在学の方

申し込み 郷土資料館 ☎ 445-1030

FAX: 443-4502

### 資料館この一品⑨

## 万福寺境内遺跡出土の 瀬戸産灰釉四耳壺

原始古代展示ケースのとなり、板碑展示の合間にあるガラスケースに納められた壺をご存じでしょうか。これは、昭和50年代に行われた万福寺境内遺跡発掘調査で発見されたものです。この調査では150基あまりの板碑が出土しており、その数に目を奪われがちですが、今回はこの資料を紹介いたします。骨壺として埋納されていたもので、高さ23.4cm、口径は9.0cm、胴部最大径は23.3cm、底部の径は11.0cmの瀬戸産です。16世紀(戦国時代初頭)のものとして推定されます。「灰釉器」は高温の窯で焼かれたもので、植物灰を釉薬に使って

るため表面に光沢があります。この壺の色調は朽葉色を呈し、同じ色の釉薬が胴下半部まで全面にかかり、また釉薬のムラが縦状に垂下し複雑な文様を紡ぎだしています。口唇部が丸くなる玉縁状の口縁を持つ短い頸部、肩部にある「耳」と呼ばれる突起が4つ付けられていますが、うち2つは欠損しています。



灰釉四耳壺

この壺は、およそ35cmの深さの穴に上向きに立てて埋納されていました。火葬人骨が納められていましたが、ふたらしきものがなかったため、器の中には黒褐色の土が流入しており、器自体も土圧のためつぶれた状態で発見されています。

# 発見！ 襖の下張りから歴史資料が

市内で家屋の解体があり、襖や障子などが廃棄処分されることになったので郷土資料館でもらいうけ、襖の解体作業を行いました（元市史編さん事業団の神山知徳さん指導）。

古い襖の場合、襖を作るときに使われる下張りから歴史資料が見つかることがあります。下張りには、自宅で使っていた紙を反故にしたものや、下張り用に売られている反故紙を買って使用していました。その反故紙を復元すると、

大福帳などの帳面や書き損じの日記、古い刊本だったりすることがあるのです。

襖の解体をするときは、写真やスケッチなどで状態を記録してから「万力」という道具を使って襖の枠をはずします。通常、襖は本紙と4層ほどの下張りで構成されています。層ごとに記録をとりながら、張り込まれた資料を剥がし、



①受入時の状態

し、目録を作っていきます。

下張りには不用になった古紙を使うことが多く、無造作に裁断されたものもあるので、資料が完全に復元できるわけではありません。しかし、それらの資料が、当時の人々が生活していた証しであることは確かです。



③下張りを剥がす作業

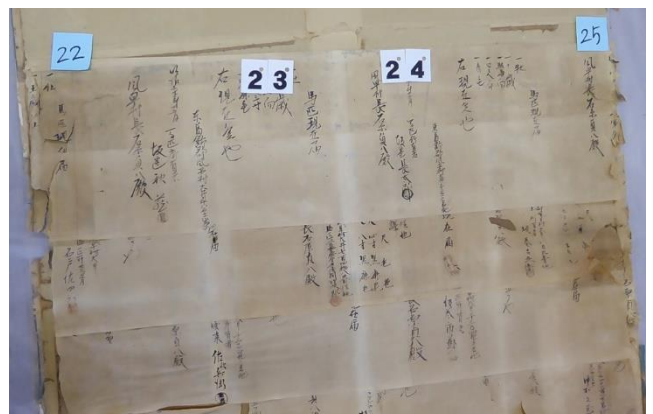


②襖の枠をはずす作業

襖の下にも、地域の歴史が眠っているかもしれません。もし古い襖などの処分を検討している場合は、ぜひ郷土資料館（☎4 4 5 - 1 0 3 0）にご一報ください。



④下張りを剥がした状態



⑤記録をとりながら下張りを剥がす



郷土資料館では、オリンピックに関する企画展を6月に開催する予定です。このため、過去に東京で開催を予定されていた昭和15年（1940年）のオリンピック、または前回東京で開催された昭和39年（1964年）のオリンピックに関するものをお持ちでしたら、3月末までに、ぜひ郷土資料館へお知らせください。また、皆さんの東京オリンピックに関する「思い出」も募集しています。「オリンピックの聖火ランナーとして走った」、「オリンピックでボランティア・アルバイトを務めた」など、何かありましたら郷土資料館☎445-1030（FAX:443-4502）までご連絡ください。

## ガイドボランティアがご案内します

### — 楽しく学べると大好評！ —

郷土資料館では、ボランティアによる館内の「常設展示ガイド」や、市内に点在する「文化財ガイド」を行っています。ぜひご利用を！

## ◇常設展示ガイド◇

経験豊かなガイドボランティアが、館内に常設展示してある各種歴史資料をやさしく、丁寧に解説します。見て、聞いて、楽しく学べると好評です。

日時 原則として毎週土曜日と日曜日の午後1時～4時（祝日に当たる場合は休み）

## ◇文化財ガイド◇

ガイドボランティアが、市指定文化財など歴史的な魅力あふれる鎌ヶ谷をご案内します。

対象 原則5名以上のグループで、希望される日の2週間前までに郷土資料館へお申し込みください

案内時間 午前の部：9時30分～11時30分  
午後の部：2時～4時

問い合わせ 郷土資料館☎445-1030  
FAX：443-4502

## 学芸員の仕事

### “クリーニングボックス”を作成

資料館では様々な場所で保管されていた資料をお借りしたり、寄贈を受けたりします。時間と比例して、当然塵もほこりも時にはカビも積もっています。カビは人体にとっても、同じ空間にある他の資料にとっても天敵。資料整理を始める前のほこり払いも学芸員の仕事です。その作業をするために「クリーニングボックス」を作りました。カビを飛散させず、ほこり払いするための秘密兵器です。費用は100均で買ったプラスチックシート1枚分のみ。あとは知恵を出しあいました。



袋を取り付けゴミを集めます

鎌ヶ谷市郷土資料館だより 第50号 令和2年2月15日発行 編集・発行：鎌ヶ谷市郷土資料館

住所：〒273-0124 鎌ヶ谷市中央1-8-31 Tel：047-445-1030 Fax：047-443-4502

メール：[kyodo@city.kamagaya.chiba.jp](mailto:kyodo@city.kamagaya.chiba.jp)

ウェブサイト：[http://www2.city.kamagaya.chiba.jp/sisetsu/kyoudo\\_2/index.html](http://www2.city.kamagaya.chiba.jp/sisetsu/kyoudo_2/index.html)